

# 会員満足度調査 結果報告書

2020年12月14日

一般社団法人

北海道医療ソーシャルワーカー協会

会員組織部

## 1 調査目的

会員の当協会事業等に対する満足度を知り、協会事業のあり方を探るための基礎資料として活用する。

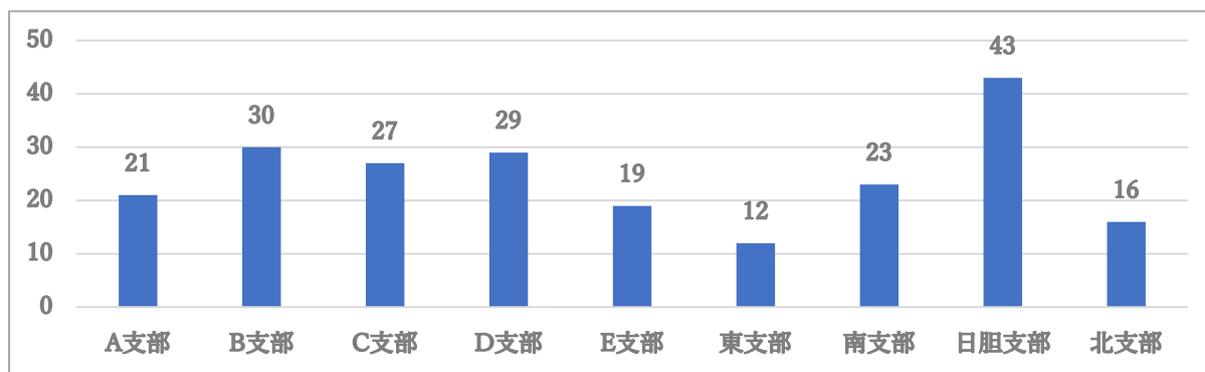
## 2 調査方法

- ・対象 会員、准会員、賛助会員
- ・方法 WEB アンケート（Google フォーム）
- ・期間 2020年11月2日(月)～11月27日(金)
- ・その他 調査結果は、集計後、当協会ホームページで年度内に公表予定であること、機関名や個人名などを特定することや公表することはないことを依頼文書に明記し、会員へ調査協力を依頼した。

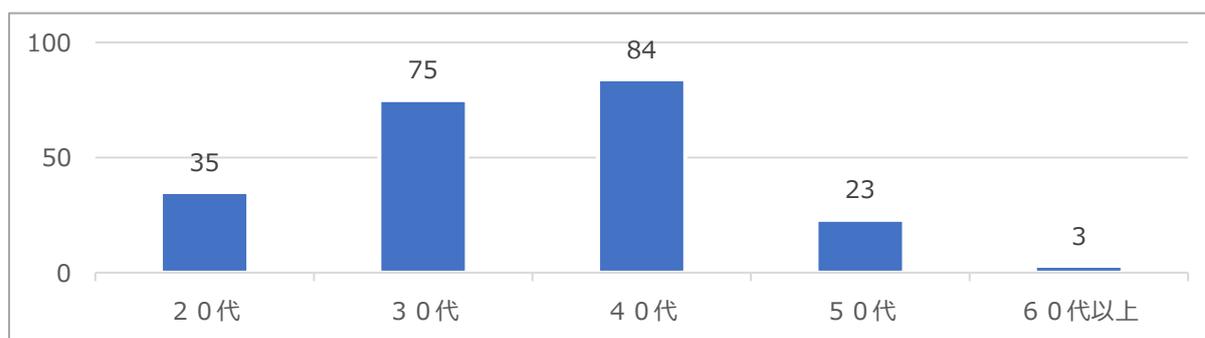
## 3 調査結果

回答者の属性（有効回答数 220）

### （1）所属支部



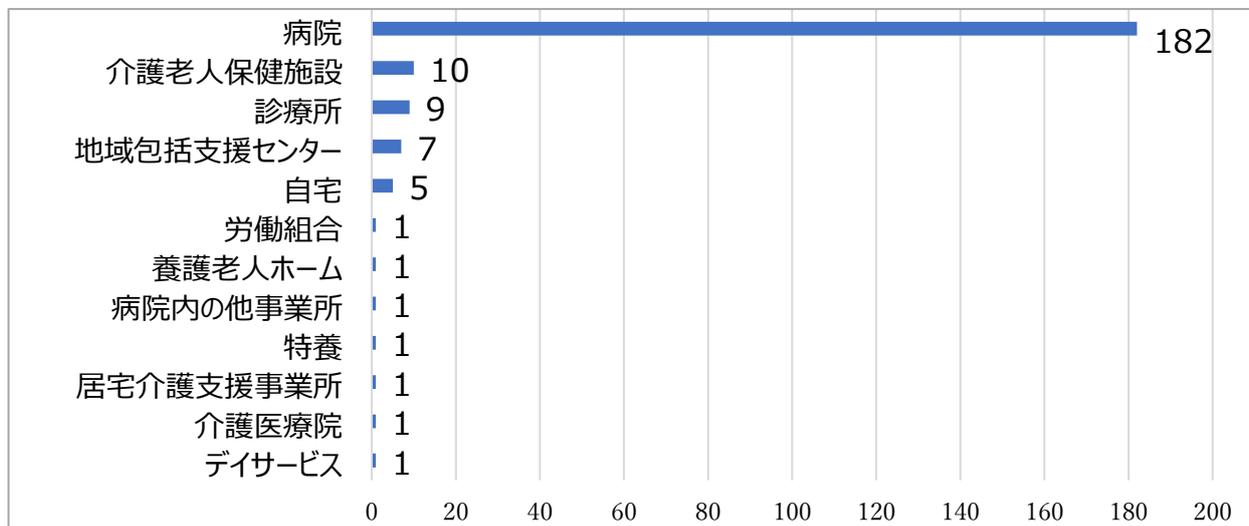
### （2）年齢



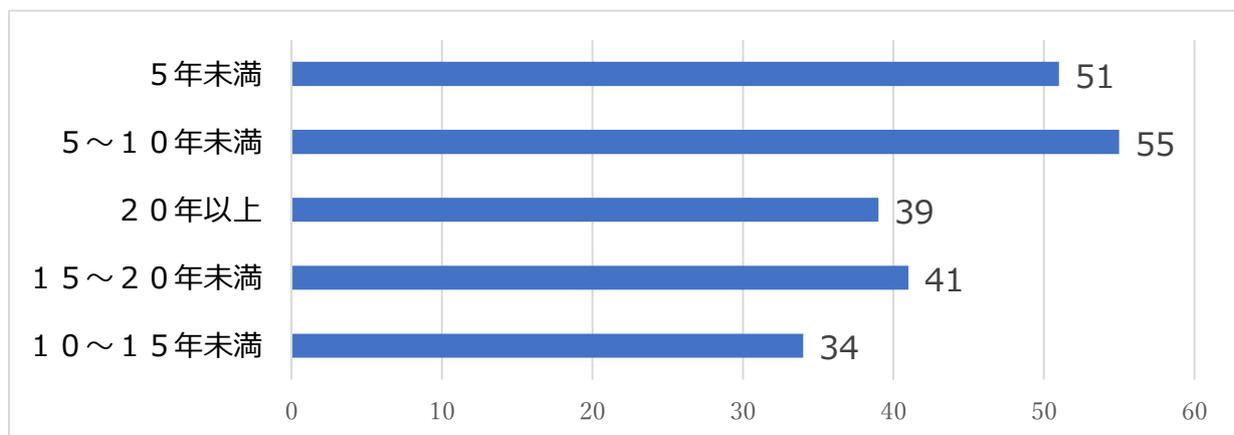
### (3) 性別



### (4) 所属機関の種別



### (5) 医療ソーシャルワーカーの経験年数

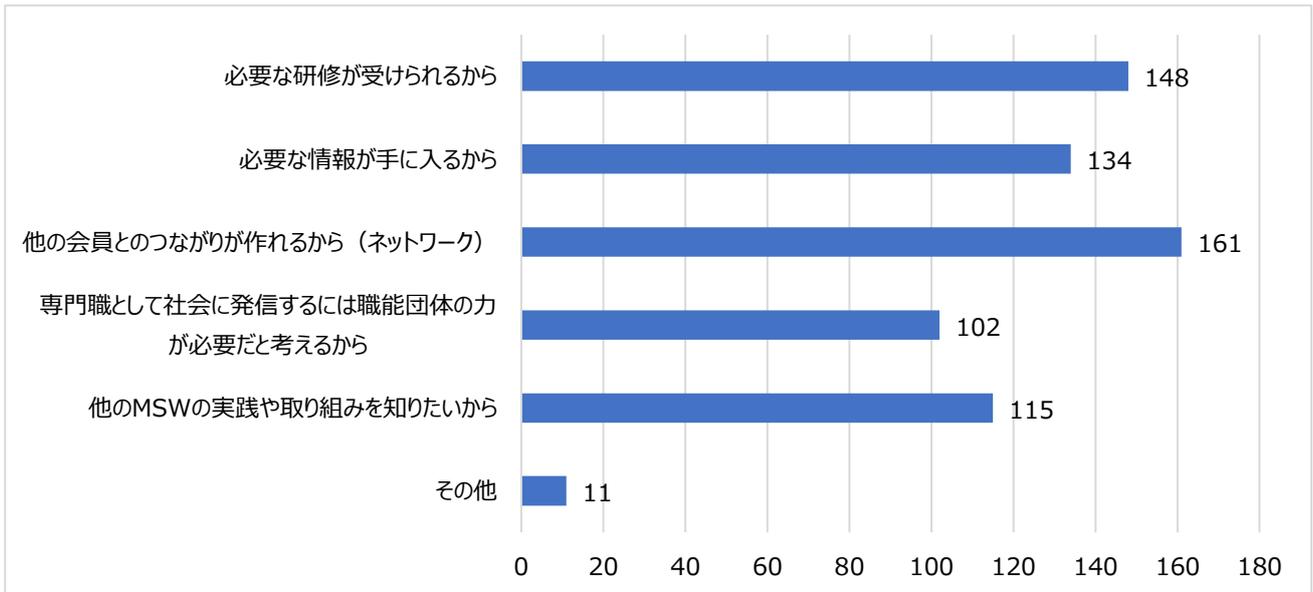


## 協会事業等への満足度

### (1) 協会に加入している目的

Q .あなたが協会に加入している目的について該当するもの全てにチェックしてください（複数回答可）

他の会員とのつながりを作れるという回答が最も多く、次いで、必要な研修が受けられるからとの回答が多かった。



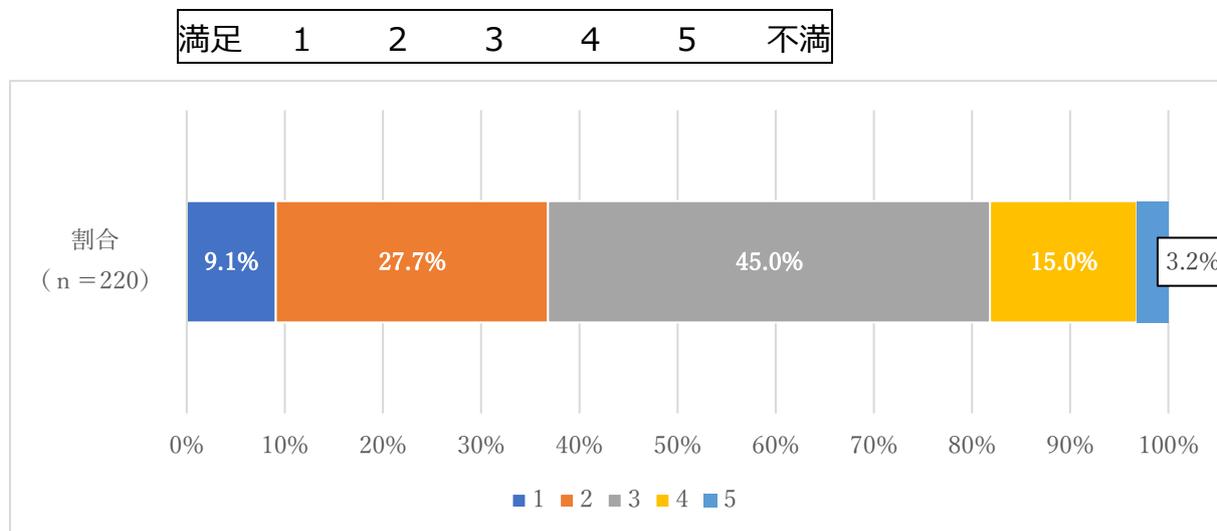
### 「その他」の内容

- 職場のきまり。
- 病院職員であれば加入するという風潮があるから。先輩職員から半ば強制的に加入させられるから。
- 北海道の医療福祉を前進するための団体と考えるから。
- 勤務している医療機関では加入が必須だから。
- 会社から加入の指定があるため。
- 協会を活用できてないが、惰性で加入したまま。
- 加入していない時に、加入している会員（役員）から差別的な発言をされたから。
- 採用時に加入を求められたため。
- 職場からの勧めで。
- 上司に促されたから。
- 協会があつての資格であると思うから。

## (2) 協会全体に対する満足度

Q .協会全体に対するあなたの満足度について、該当するもの一つにチェックしてください。

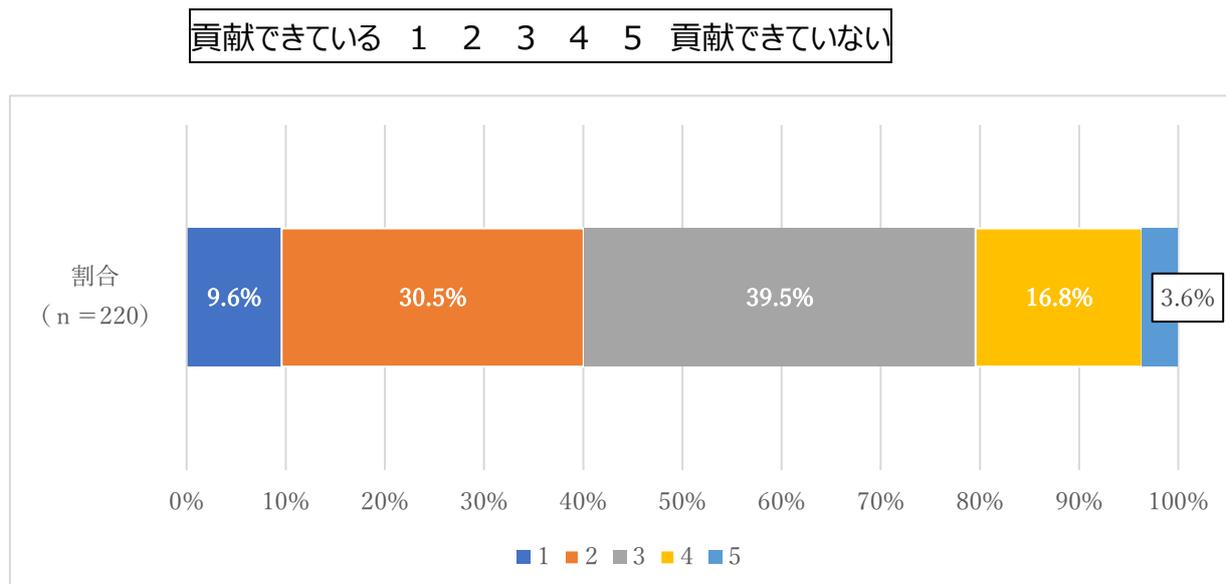
満足と不満の間である「3」の割合が45%と最も多く、満足「1」は9.1%、不満は3.2%であった。



## (3) 協会の専門職としての実践への貢献度

Q .当協会は、あなたの専門職としての実践にどの程度貢献できていますか。該当するもの一つにチェックしてください。

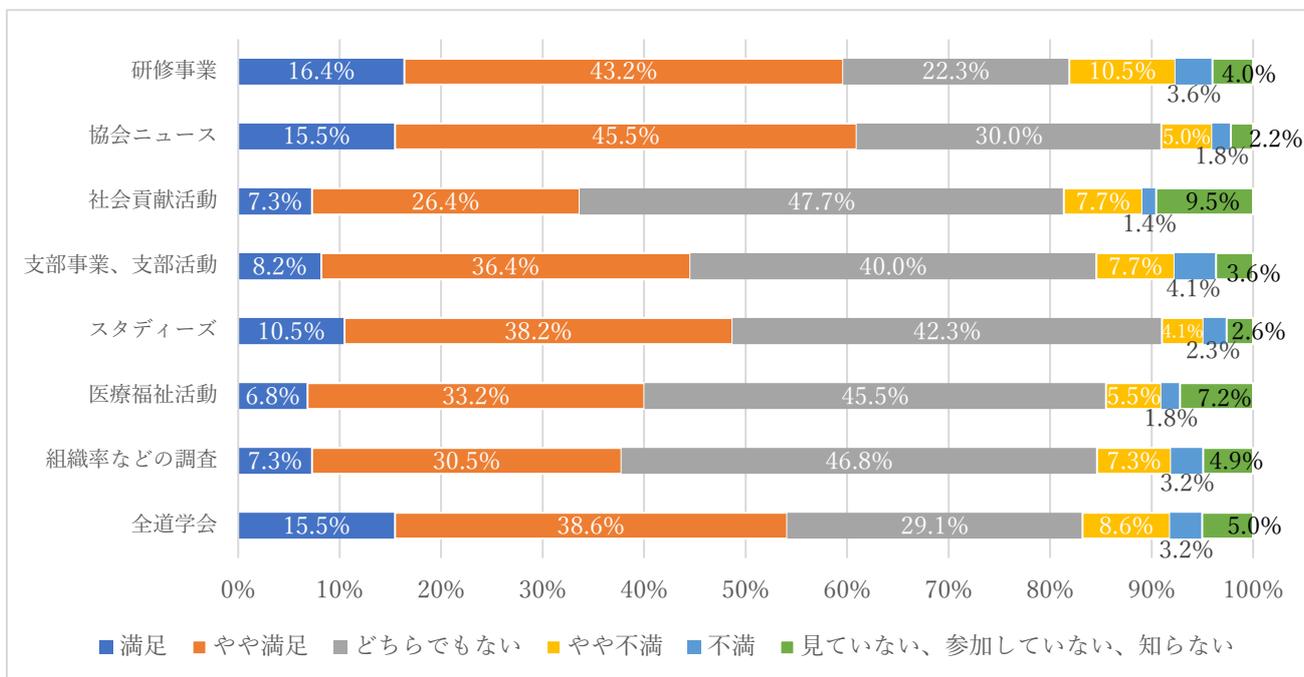
「貢献できている」と「貢献できていない」の間にあたる「3」の回答が39.5%と最も多く、やや貢献できているに相当する「2」の割合が次いで多かった。



#### (4) 各事業に対する満足度

Q.各事業についての満足度について、項目ごとに該当するもの一つにチェックしてください。

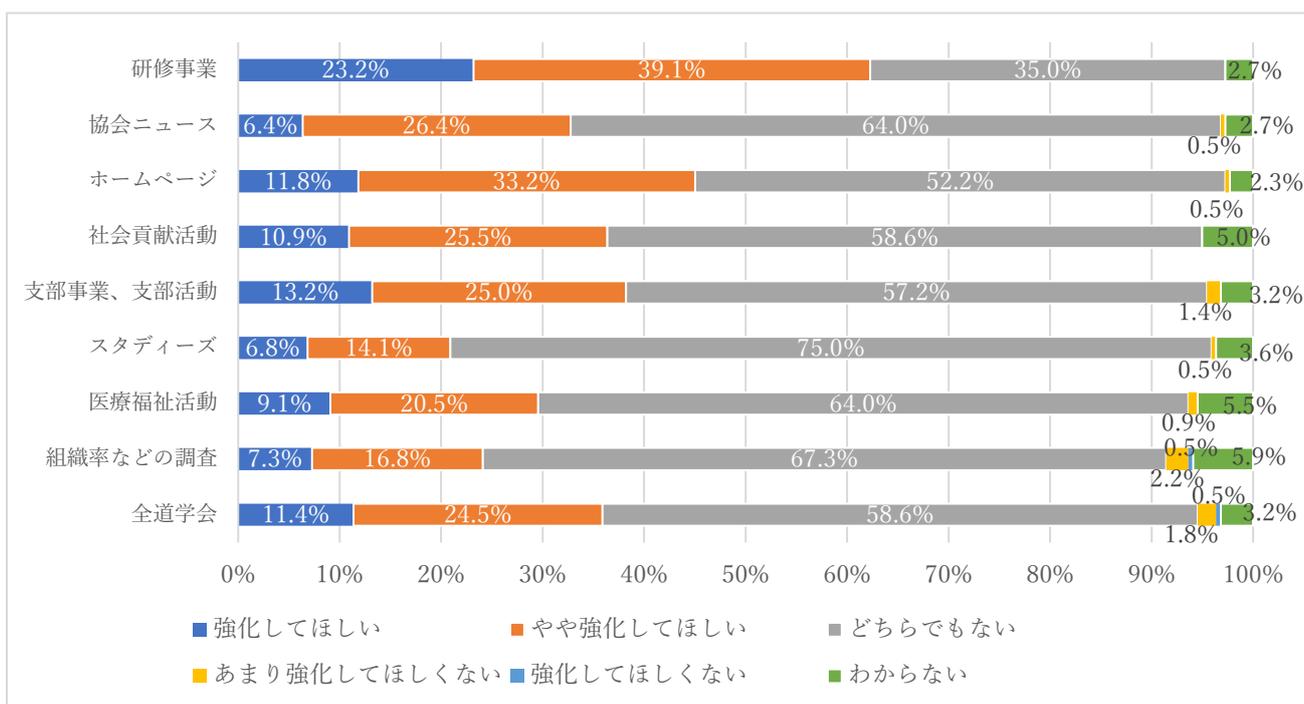
研修事業や協会ニュース、全道学会の満足度が全体的に高い結果となった。



#### (5) 各事業に対する強化や充実への要望

Q.各事業について、強化や充実の希望について、項目ごとに該当するもの一つにチェックしてください。

研修事業を「強化してほしい」「やや強化してほしい」の合計が 62.3%となり、研修事業への期待が大きい結果となった。

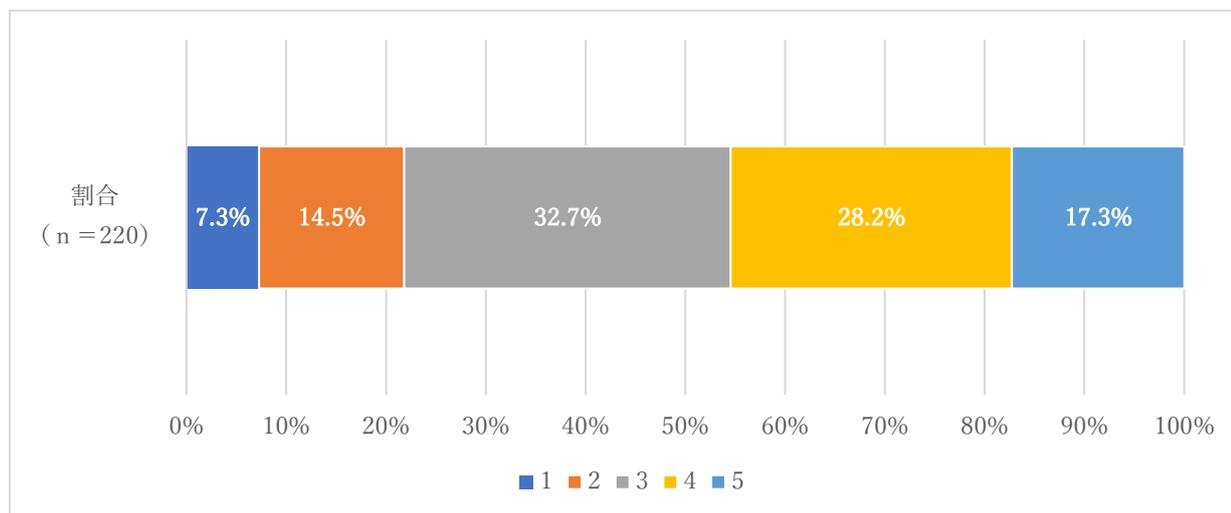


## (6) 会費に対する満足度

Q .会費に対するあなたの満足度について、該当するもの一つにチェックしてください。

満足度が高い「1」「2」の合計は 21.8%に対して、満足度が低いと考えられる「4」「5」の割合は、45.5%となった。

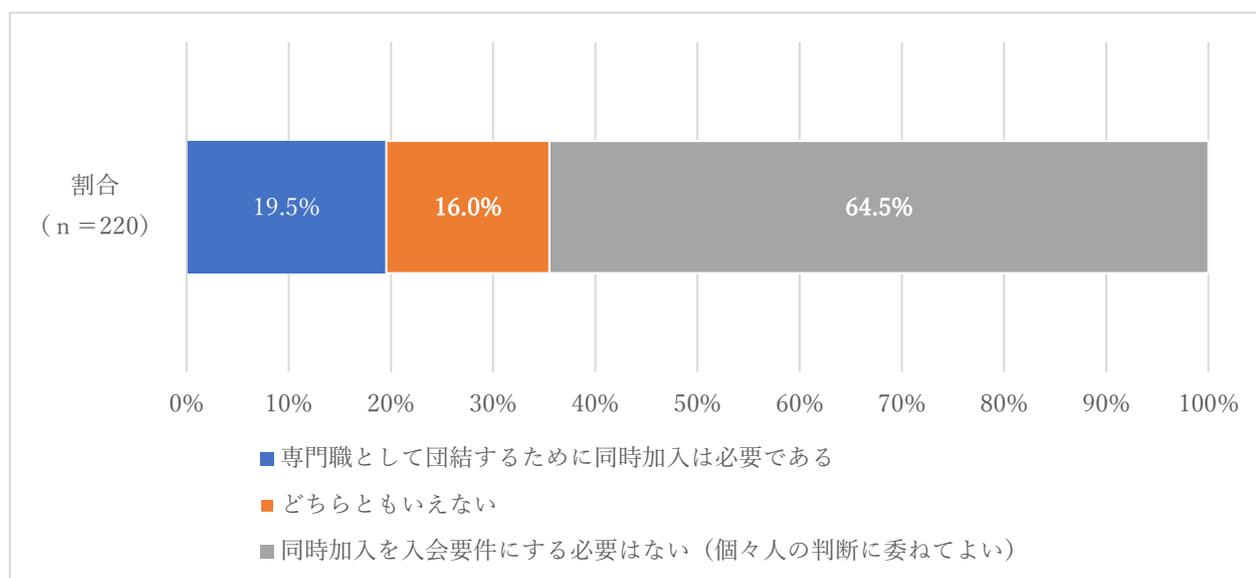
満足 1 2 3 4 5 不満



## (7) 日本医療社会福祉協会との同時加入に対する考えとその理由

Q .日本医療社会福祉協会（日本協会）との同時加入（セット加入）に対するあなたの考えについて、該当するもの一つにチェックしてください。

「同時加入を入会要件にする必要はない」との回答が 64.5%と最も多く、次いで、「専門職として団結するために同時加入は必要である」との回答が 19.5%と多かった。



Q .上記の同時加入について、あなたがそのように考えた理由について自由に記載してください。

専門職として団結するために同時加入は必要である

- SWとして必要な知識、技能の習得ができるのであれば、同時加入した方が機会を得られる。
- セット加入でなければ身近なところの物だけでいいと考えてしまいがちになるため（自分自身が）、質の担保のため。
- ソーシャルアクションを行うためには数（人数）の力は大切である。専門職団体として社会に働きかけるためにも、加入が適切であることを、加入しなければ知ることはないため。また、新卒時には、給与もそれほど高くない中で、高い会費負担を支払って加入するのは、同時加入が義務でなければ、困難かもしれない。
- 医師会などと同様に会員登録しないと業務が出来ないくらいの拘束力が必要です。不正をしても罰せられない資格はいやです。
- 医師会や弁護士会などと同様にMSW/PSW 共に入会必須にしないと業務ができないくらいの法的拘束力を求めます。
- 決定機関である政府に対してアクション出来る重要な資源であるため。
- 個人によるアクションより、組織によるものの方が強い影響を持つため。
- 厚生労働省が職能団体の評価を組織率で評価をして意見を聴くことを知っていること、実際の業務でそのリンクがわかっているからこそ価値を理解できる。
- 社会的な位置づけを確立するため。
- 職能団体であれば当然 IFSW に加盟しているべきで、社会福祉士会のような組織体系を目指すべきだと思います。
- 専門職としての意識を高めるためには、職能団体としてきちんと組織化し活動する方が望ましいと感じている。入会して活動することで専門職を意識した業務への考え方が作られてくると思う。
- 専門職として職能団体の機能は必要と思います。入会を選択制にするとよくわからないから入会しないという人が多くなると思います。
- 専門職能団体としての使命、日本協会への発信力。
- 全国協会の都道府県支部の位置づけにあるとの考えから。
- 組織、職能団体として、必要。
- 地域のみでも限界があるため。
- 定款第6条第2項倫理綱領に関する条項は、団結云々以上に当協会にとって重要なものであると理解すべき。
- 同協会と日本協会それぞれの研修を活用していて大変良いと感じているから。
- 日本→北海道→支部→市区町村→医療機関→個人、といった序列及び関係性を一組織として捉えた場合、都道府県協会の上に存在する組織に加入することは必然と考える。その流れの極論は、日本の上に位置するアジア圏域や世界といった括りにまで辿り着き、グローバルが謳われる昨今だからこそ、尚更そこまで見据える必要が有るかもしれない。ただ、一医療機関のワーカーとして働くに当たり、国内の医療動向を注視することは、マクロ視点として最低限必要と考える。長くなったが、都道府県や国内に於ける医療動向を身近に把握するべく、同時加入は必要と考える。
- 北海道が日本協会へ影響力を持ち、全国の情報収集や政策提言などをし易くする為。
- 様々な運動・交渉の上で団体の母数は重要と考える。

## どちらともいえない

- 個人的には同時入会を推進したいが、現状は難しいのではないのか。
- あまり利点を感じる機会がない。
- そもそも同じような会がありわかりづらい。
- どちらにしても会員の一定の合意が必要と思います。
- 一年目でコロナ渦中という独特の年なので評価できない。
- 個人的には、もともと日本協会のもとに道協会があるというような、連携したイメージを持っていたこと、初任者研修でも倫理綱領のことを学んだことで同時加入は必要と感じていました。個々に加入するというよりは、一体的に加入するような形（道協会に加入した時点で、日本協会にも加入したことになる）になればわかりやすいと考えます。
- 国に訴えていくためには日本協会の加入が必要だが、どうしても会費が高くなるため、費用面で悩ましい。新卒者にはハードルが高い。
- 社会の中で、MSW 専門職団体が力を発揮するためには会員数が必要だと思うので、同時入会は意義があると思う。そして、同時入会でも手続きが簡素で良い。
- 上司から入会するように言われたので入会しましたので、特に理由はありません。
- 職能団体としての役割を果たすには同時加入が望ましいも、会費が高く一度に支出なので就職もない世代には負担が大きいのではないかと思う。
- 専門職としては日本協会への入会が必要であると考えますが、道協会として強制にすべきかは迷うところはある。道協会側だけではなく、日本協会も検討をしなければならない内容だと思う。
- 専門職として全国的に団結する必要は当然あると思いますが、その方法論として北海道のみ同時加入は正しくないと思います。北海道 MSW 協会として、日本という単位での団結に向けた明確な目標や取り組みが存在しているならまだしも、少なくとも最近の 10 年間で進歩を感じたことはありません。むしろ、セット加入とは別な部分で統一に向けた取り組みが存在しているように感じます（会長会の発足、並びに全会長の加入）。セット加入がこれらの取り組みに寄与しているのであれば、当方の知識不足です。申し訳ありません。
- 都道府県協会は支部扱いとして日本協会の一員として一致団結すべきと考えます。
- 同時加入について現役員の方々は重視していないのでしょうか。なぜこの設問だけがあるのか真意がわかりませんが、これでは規約にあるから同時加入を勧めているような印象を受けます。必要性があることを明示してください。
- 同時加入の必要性は理解しているが個々の判断にゆだねても良いと考える。
- 同時加入は大切だと思いますが、きちんとその重要性を説明したうえで個々人で判断したほうが良いと思います。
- 同時加入自体には問題がある（会費が高額となる等）と考えているが、ソーシャルワーカーが世界的に定義付けされた価値と専門性を有する専門職であるならば、会員個々が IFSW とつながる国レベルの職能団体に所属するべきであるとは考えている。職能として団結した政策提案等に参画していくためにも必要ではないか。都道府県単位の職能団体が団体として日本協会に加入し、日本協会が提供する研修や学会、情報発信を当協会会員も受けられるような仕組みづくりについて議論を進めてほしい。
- 道も独自のカラーも以前より色濃くなってきたと感じるので、セット加入に関しては見直す時期なのかもしれません。
- 日本医療社会福祉協会の研修等、活動に参加した経験がないため。
- 入ったほうがよいけど強制はできないから。でも、専門職は学びを続ける義務はあると思います。
- 別々の団体ではなく、日本協会の都道府県支部（1つの団体）となった方が連携しやすいのではないかと思う。

### 同時加入を入会要件にする必要はない

- 9年加入して日本協会の講習を受けたのは実習指導者のみ。コスパが悪すぎるので、必要時に加入でよいと思う。
- セットで加入しているメリットを感じない。
- セット加入の必要性が不明だからです。
- そもそも、強制すべきことではないと思うから。
- そもそも強制すること自体が何を根拠にしているのか、何を目的にしているのかがわからないとも感じています。同時加入を必須とするならば、「決まっているから」ではなく、意義やメリットを示すことが必要であり、その上で会員に選択と決定を委ねることが必要ではないかと思います。
- そもそも独立した組織ではなく、地方支部であってほしいです。
- どこに加入するかは個人の経済的な問題もあるので個人判断で良い。費用がネックになり若手の参入が妨げられている側面もあると考える。
- どの協会に加入するかは各々の考え方もあるため、両方を強制加入にする必要はないと思うため。
- 囲い込みのように感じるので。
- 会員の組織率向上を考えるのであれば、セット入会の費用負担が大きい（特に若い世代には）。
- 会員自身の判断であるべき。
- 会費がかかるので。
- 会費が高い。会費にたいしてのコスパが低い。
- 会費が高い。同時加入で割引があるなら良いと思う。
- 会費が高すぎる。職場からの支援がなければ、家庭があると生活費から捻出することが難しい。ご理解していただきたい。
- 会費が高額なので、個人の判断で決めることができればよいと思う。
- 会費が負担になり会員に繋がりにくいから。
- 会費などの金銭的な負担感が、個々人によって異なると思うため。
- 会費の対価に応じた、加入メリットがあまり感じられない。
- 会費の負担が大きい、日本協会に加入しているメリットを感じない。
- 会費の負担が大きいため。
- 会費負担が厳しい。
- 会費負担が大きい。
- 協会の意図は一緒であり、同時加入することでの会員としての利益を感じられない。
- 協会加入に対してメリットを感じず、退会を考えている声を耳にします。もし同時加入による費用負担が理由に含まれているのであれば、個人が選択できる形をとるのも1つかなと考えていました。
- 強制するものではないほうが望ましいと考える。
- 強制する理由はない。
- 経済的に負担という場合もある。
- 経済的負担もあるため。
- 経済的理由による。負担が大きいため。
- 研修が北海道内で実施されているもので足りてしまう。

- 研修の参加や情報の幅は広がるが、費用負担が大きい。
- 研修会参加を道内だけで良いと考える会員もいるのではないだろうか。
- 現状は同時加入しているので特に不満はない。しかし、加入を選べるようになるなら考えてしまうかもしれない。そもそも日本協会と各都道府県協会とで、なぜ分ける必要があるのかわからない人も多いと思う。郡部の人は特に、年会費は払っているが研修会に行くまでに時間もお金もかかるから行けない人も多いと思うし、それが理由で協会に所属しない人も多いと感じる。今は WEB 研修という選択肢があるが、それでも直接会って受ける研修の方が実りは多いように思う。
- 現状道協会の活動等で事が足りている。日本協会の必要性について特に感じた事は少なく、日本協会への加入は必須ではないと考えたから。
- 個々の意思は強要するものではないので、自由選択で良いと思います。
- 個人としては日本協会の研修への参加は難しく、入会のメリットを感じていない。
- 個人の考え方によるため。
- 個人の自由であるべきなのに強制加入はおかしい 理由がよくわからない。
- 個人の自由と考えるため。
- 個人の判断でよいと思うので。
- 個人の判断によるもので強制されるものではない。
- 個人メリットが少ないように感じる。
- 個人負担の場合費用面から入会のハードルを上げると感じる。それが当たり前と思ってきたし、初任研で協会活動は自分で費用対効果を見出すと教わったが、日本協会についてはいまだにわからないため。
- 行われている内容が異なるので、それぞれを選択できて良いと感じている。
- 将来的に日本協会と北海道協会(各都道府県協会)は本部と支部の関係になることが望ましい。その上で社会福祉士を基盤とする多領域を束ねたソーシャルワーカーの共通資格とする取り組みを推進するべきだと思います(精神保健福祉士も含む)。ソーシャルワークが国民及び社会にとって長くその使命を果たし続けられるよう取り組む責務が職能団体としての協会にあると思うからです。
- 上記協会の事業内容が不明瞭で同時加入の必要性を感じない。
- 職能団体に所属する理由や目的は個々人で異なると思う為。
- 新入職員が加入を検討する際、入会金と年会費の負担が大きいことを理由に加入をためらってしまうため。
- 設問の通り、個々人の判断に委ねてよいと考えます。
- 選択するのは個人の自由だと思うし、同時加入を求めるのであれば、最初から道協会が窓口となって会費の徴収等をやっていたほうが良いかと思います。
- 全ての会員が日本協会の活動に参加できるわけではないので、入会要件にする必要はないと思う。会費の負担が大きい。
- 全国で MSW は 1 つの団体で行くべきであり、日本協会を中心に一体になるべきと考え、北海道協会は日本協会の支部となるべきである。しかし、日本協会と都道府県協会の足並みがそろわないことを考えると、道協会の正会員要件にする必要はないと考えた。
- 全国の研修や学会等に参加できる時間的余裕があるとは必ずしも言えぬため。
- 全国学会に参加することも少なく、正直、全国会員である意義が薄れている。また、新人にとっては、北海道だけでも学会費が負担になるのに、全国まで入れると負担が大きいと考えられる。

- 他の MSW は会費が高く、メリットが見つげづらいと感じ、加入していない。
- 他の専門職団体はそうしているから。
- 他の都府県と同様で良いと思う。
- 団結することは大事だと思うが、1年に合計2万以上の会費がどこまで会員と患者。
- 都道府県レベルでの団結で組織力を強化することは理解できる。しかし同時加入が入会要件ということが足枷となり、入会を希望しない方もいるかもしれない。入会時に同時加入するか否か、選択できる権利を付与すれば、入会のハードルは少し下がるのではと感じている。
- 同時加入が必須である理由が理解できていないため。
- 同時加入が必要であるなら会費の支払いが重複してしまうため、負担が大きく感じる人が出てくると思います。実際現在日本協会と道協会に加入していますが、日本協会の研修に参加する機会はあまりないため、加入しているメリットがわかりにくい感覚があります。
- 同時加入しているメリットを感じない。
- 同時加入することのメリットを感じられなく、費用負担が大きいため。
- 同時加入するメリットを感じられないため。
- 同時加入する事で、何がどうなったか、の説明が必要。
- 同時加入だと会費が高い。基本的に情報としてほしいのは道協会がメインなので加入の足かせになると思います。
- 同時加入だと他協会より会費が高い。個人が必要とする協会のみへの加入でよいのでは。
- 同時加入とする意味がわからない。
- 同時加入の必要性がよく分からないため。
- 同時加入の必要性を感じない。
- 同時加入の理由が素直に納得しきれない。逆に加入率を下げているように感じる。自身はあまりメリットを感じない。
- 同時加入は数十年前から慣習となっただけと思われ、個々の判断に委ねてよいと思われる。
- 同時加入は日本協会が人数確保したいだけではないかと考えます。
- 同時加入は料金が安い。ほぼ日本協会の研修にしか参加していないため。なぜ同時加入する必要があるのかそもそもわからない。
- 同時加入を強制していることに違和感がある。自由に選択すべきである。
- 同時加入を入会要件となった経緯は分かりませんが、会費等を考慮すると強制ではなく個人の判断に委ねるものかと思います。
- 道でも、日本でも年会費がかかり、両方とも高いと感じている。運営にかかる経費がそこまでかかるのか分からない。
- 道協会と日本協会との繋がりがあまり感じられない（セット加入を条件としているにもかかわらず）セット加入させて終わり・特にフォローはなしという印象。
- 道協会は自分の意思で入会したが日本協会は強制だから入会した。すべての都道府県が同時入会なのだと思っていた。そうではないことを知ったから。選択する権利、選択した義務はあるべきである。
- 日本医療社会福祉士会の取り組みが不明瞭なため。
- 日本協会が都道府県にぶら下がっているように感じる。
- 日本協会が都道府県協会の上位団体としてセット加入を要求しているなら理解できるが、原則は個人の判断に委ねるべきで強制するのはおかしいと思う。
- 日本協会で開催する研修や学会などになかなか参加できない（開催場所やコストなど）ため。セット加入すること

で日本協会への協力を道協会としてするのであれば、もう少し研修会を引っ張ってくるなどしてほしい。（コロナウィルス感染症によりほとんどの研修などがウェブ開催できるようになればそれでも良いですが。）

- 日本協会と道協会の直接の関係がないため。個々の判断で良いと思う。
- 日本協会に加入して、自分に利益があったと感じない。
- 日本協会に加入しているメリットを感じない。
- 日本協会の加入のメリットを実践上あまり感じないため。
- 日本協会の会員要件は社会福祉士であり、所属機関は問われていない。道協会との会員要件が異なるのに同時加入はできない状態であるため。賛助会員で入会は本来の目的とは異なると思います。別団体である以上、同時入会の必要は感じない。
- 日本協会の研修は旅費と時間がかかるので参加しづらいため、メリットが感じられない。
- 日本協会の研修参加等必要なので、個人的には入会したいと思っているが、費用面で負担があるため、個人の判断にゆだねる必要性があると思う。日本協会の入会もしなければいけないから道協会に入会しないといった声も一度聞いたことがある。
- 日本協会の場合、道外での研修も多いことから、研修を受けづらい部分があり、個人の判断で加入の有無を決めて良いのではないかと考えるため。
- 日本協会は入るメリットがあれば自然に入るので、要件にすると強制感が出る気がします。先輩・同僚が両方入っていると新しく来た職員も入るのを断りにくい空気になると思います。
- 日本協会を活かせていないため。
- 日本協会加入のメリットを感じないため。
- 入会して5年が経ちますが同時入会したことでのメリットが会費の負担を上回っていないと感じます。
- 入会の動機、経済状況等それぞれの事情を考慮し、個々の判断に委ねた方が入会が増えると考えたから。
- 入会の理由が個人により違うと思うので、各自の判断で良いと思う。
- 年会費が高額なため。
- 費用がネックで入会を希望しない人がいるため。
- 費用が高額であるため。
- 費用負担は、大きく各々の諸事情に合わせて加入できる自由があっても良いと思うから。
- 必要なものと不必要なものは個々が考え選択すべきこと。
- 必要性についての説明もなく、同時加入が必須と言われても賛同できない。
- 別団体のため任意の選択制としたほうがよい。
- 北海道 MSW 協会のみで事足りると感じるから。年会費の他に研修費が発生することもあり、研修自体に参加することも考えてしまいます。北海道 MSW 協会のほうが研修やその他加盟していることによる恩恵を感じているので、同時加盟が必須でないのであれば日本協会は退会も検討したいです。
- 北海道の会員が多いのに研修も東京ばかり。現実的に考えても恩恵が受けられない。年会費を払っているのに、研修費用も高い。それなら、行きたい人、入りたい人が個々人で入れば良いと思う。それを都道府県協会レベルを落とさずに研修等行えば良いのでは？
- 北海道の活動のみに参加したい場合、賛助会員になるしかない現状ですが、議決権がないなどの制限が生じます。私としては北海道のみの選択があるとありがたいです。
- 率直な意見を失礼します。日本協会への加入と会費納入により日本協会が運営され、マクロ的な取り組みにつな

がることは十分理解しています。しかし実際に同時加入により費用負担は大きく、いちSWとしてわかりやすい実践への影響や研修参加などの費用対効果は感じにくいのが実際だと思います。研修も道外まで自費で参加になりすし、オンライン環境などコロナをきっかけに整備されるとまた違うかなとも思いますが…。研修費も実際万単位で、結局手が出せず、ただ会費を払って加入しているというとらえにおちいりやすいと感じています。よって、先の質問で専門職として必要であると思えて、自分の生活なども鑑み加入を希望する方は加入、いろいろな側面を鑑み自分は道協会のみで、実践に活かせるネットワークづくりや研修参加などをしていきたいと考える人は道のみという自身のキャパシティや成長度合いに応じて選べたらいいなと思います。後からセット加入することで正会員、それまでは準会員などでもいいのかなとも思いますが、道協会として研修費に差が出ざるを得ないのであれば同じ北海道で頑張る仲間として切ないです。せめてセット加入なら会費や入会費が安いとかそのくらいのメリットでもいいのかなと思います。セット加入が道協会の入会要件であることで、給与の少ない初任期中に負担を負い、手の届く実践や研修を求める時期に背伸びしてマクロ実践の意味を日本協会の加入に見出すという状況は後継者育成としても厳しい側面があるのではないのでしょうか。費用負担、費用対効果により日本協会に加入しないことはすなわち道協会に加入しないことになるので、結果組織率などにも多大な影響を与えている可能性は否めないものと感じます。

- 両協会の会費の合計額が高額であるため。

## (8) 協会への要望等

Q.最後に、協会への要望があれば、自由に記載してください。

- MSWとして職能団体の活動は必要なことだと思うが、子育て中のため業務外の活動は難しく、業務時間内にも必要な活動が出来るよう職場の理解が得られると良いと思う。そのためには地域活動が職場にとっても有益であることを示さなければならないと思う。
- MSWの資質向上のための研修は多いと思うが、他職種との連携や行政への提言などにも力を入れて頂けるとさらに協会の存在感が増すと思います。今後とも宜しくお願い致します。
- MSW協会、社会福祉士会を統合してもらいたい。それぞれの情報、年会費等の集約が出来れば助かる。
- SWの処遇は高いとは言えず処遇改善の必要性について検証する必要があると思います。よって、「処遇状況調査」を提案します。できれば、このソーシャルアクションを日本協会で行い、「自分の問題」として関心が増すのかと思います。
- WEB研修するのであれば、ZOOM等の双方間での対面式ではなく1対多人数の配信式でもよいのではないかと考える。どのみち参加費用徴収するのであれば研修参加の敷居下がると思われる。
- いつもありがとうございます。ソーシャルワーカーになりたいと思う学生が少なくなってきた、いかにソーシャルワークの魅力を伝えていけるのか、という点が課題かと思っています。協会と一緒に考えていければ良いなと思います。
- インターネットやメールの案内等で書類を節約すべきだと思います。
- オンラインでの研修の充実を希望します。
- オンライン研修が増加しているが、日時の指定が無くても閲覧できる様にしてほしい。
- オンライン研修になってから研修がなかなか受けられなくなりました。いつか会場での研修に戻った際は参加したいと考えています。

- オンライン研修は移動や宿泊の時間が省け、参加しやすいと感じています。
- コロナウイルスによって研修などがリモートになってきていますが、リモート環境が整っていない会員の方もいるので、そういう人達に対しての環境を作ってあげるような（パソコンの貸し出しやネット環境の提供）事も考えていただけたらと思います。
- コロナ禍で研修等にも参加できないため会費をもっと安くしてほしい。負担が大きいです。
- コロナ禍にあって、リモート系の会議や研修会が主流になりつつ有るが、やはりソーシャルワークの基本は生身の人と人とが直接向き合って活動することと考えている。いつ世の中が平穏な日常に戻るのか、全く見通しが付かないものの、ある程度戻った際には、リモートではなく、従来の研修会の形式を希望する。
- コロナ禍のため難しいと思うが、オンラインでは研修に参加できないため、別の方法も視野に検討してほしい。
- コロナ禍でのアンケートなので先が見えない現状。変わる必要は感じる。
- しかし、研修は同じテーマのループになっており会員のニーズに応じた他のテーマも検討する必要があると思います。
- タイムリーな時事ネタや制度の情報を得る機会があるとうれしいです。（他職能団体の情報で知ることが多い。）
- ただ、支部での活動は年々厳しい状況になってきていると感じている（各医療機関内での役割増加など）ので、省力化が図られるのが望ましいと思います。
- とにかく会費が高い。
- ホームページの会員専用と一般用と同じ内容を掲載してほしい。わざわざ一般→会員と行き来するのが不便。会員専用としての活用がしにくい（研修内容は一般を見なければならぬし、パスワード変更も都度手間であり各人用にIDやパスワードを発行してもらいたい。）
- また、コロナ禍での研修がWeb主体になる中、支部での集合の機会も減り、支部の意義が薄まっている印象を持ちます。支部では研修事業よりも地域に根差した取組やソーシャルアクションを意識した活動を中心とし、そこに会員の参画を促すようにすれば、『支部』という単位が意味を持つのではないかと思います。
- 会員に対する施行規則の改正・事業の進捗に関する説明が足りないと思います。総会や集会への参加が制限される昨今、会員に向けた情報発信を今まで以上に行うべきと考えます。
- 会員情報などの一覧も冊子にする必要はあるのか？経費の無駄だと思います。
- 会員同士の顔の見えるつながり、ネットワークが協会の研修等を介して広がればいい。今はネットワークが希薄になっているように感じる。
- 会費に見合うほどの見返りはない。全体的に質が低い。できることなら脱退したい。
- 各機関での業務もある中、協会業務を担って頂き有難うございます。
- 学会に参加しますが、宗教チックで閉塞感を感じます。
- 活動に参加できていませんがよろしく願います。
- 関心のある研修を準備いただいているが、オンラインなどで参加しにくく費用を払ってでもよいので、資料提供だけしたりするとより協会加入の意味を感じられます。
- 関連団体との連携、共同事業の展開。
- 議決権は求めているので、会費を賛助会員と同額にしてください。
- 協会は支部を超えた連携もあり支援も手厚い。入会したことでメリットも多く、研修内容も充実しており業務の質が上がったと感じる。またWEB研修の方が出席しやすいので回数を増やして頂きたい。
- 協会活動に積極的でない会員の意見の徴収が重要だとおもいます。
- 業務をしながらの役員活動に感謝申し上げます。

- 勤務しながらで皆さん大変と思いますが、各事業に関してもマンネリ化を感じます。中堅層向けの研修も少なく、またコロナで事業がストップした時期もあり「このまま入り続けても…」とってしまいます。
- 研修などが宗教チックに感じて面白みを感じません。顔見知りの慣れあいの会でなく、もっと福祉以外の刺激的なテーマや議論がしたいです。一般企業と医療業界は専門性が高い分閉鎖的です。
- 研修においてグループディスカッションを多く取り入れてもらいたいです。
- 研修や活動には、『理論や専門職的技量の習得』『現場に即した実践的な知識や情報』といった期待を持っています。
- 研修会が札幌開催が多く参加しづらい。会費は同じでも地方にいる会員は参加できないことが多く不平等。リモートで参加できる研修を増やしてもらいたい。
- 研修会の日程がもう少し早くわかると予定を組みやすいです。
- 研修企画の充実に期待します。
- 研修等において地方会員には移動に関する補助があると良いと思う。リモート研修は今後も継続していただくと、地方会員も研修の参加機会が得られやすくて良いと思います。組織率が下がっているとのことで、MSW の質の担保という観点でも是非会員が増えて MSW 全体の質が上がることを期待したいです。
- 今回のアンケート内容については、新型コロナウイルスの影響にて研修会や支部活動が当初減っていたことも反映しての結果となっております。
- 今年はコロナ禍のなかで協会について考えていただきありがとうございます。活動しにくい環境ではありますが、オンラインの研究は今後も有用性があると思いますので、さらに進めていただくと幸いです。
- 冊子などの郵便物の量を減らしてほしい。
- 参加しただしたらいろいろと協会に対する意見も出ると思うが、参加していないので特に具体的な意見も要望もないです。
- 産休・育休・病気療養中など会員活動ができない場合に、会員費を免除としながら復帰のための情報提供として、広報誌などの定期配布があると良いと思います。
- 賛助会員が正会員になれるシステムがあればよいと思います。
- 紙も割と上質でもったいないと感じています。
- 自分は異業種からこの仕事に従事することになり、右も左もわからない状況のなか、協会での活動を通してソーシャルワークの価値に触れ、先輩方の実践を垣間見ながらこの仕事のダイナミズムを体感することができ、これらの体験が現在の自分を形成していることを確信しています。当協会がこれまでも、そしてこれからもソーシャルワークの価値を体現する団体であり続けることを切に願い、必要な協力は惜しまない所存です。
- 実践にどの程度貢献できているか・社会貢献活動については、院内での日ごろの業務を専門職として行えていても地域・社会に結び付くような専門職としての活動は不十分であると実感しております。一方で、具体的に何ができるか・どこから取り掛かればよいかもわからないのが正直なところです。協会活動の中で道筋を示していただいたり、あるいは実際に病院・事業所で取り組んでいる活動について共有して頂ける機会があると大変嬉しいです。支部活動も最近では広報紙の確認やメールでの研修内容を教えて頂くことが中心であり、オンラインでも良いため顔をみて各病院での取り組みなどを共有できる機会があれば尚良いと思います。
- 実務の面では、診療報酬（介護報酬）等の情報や加算への取組等については、現状では個人のつながりで情報を得ている状況ですが、自院も他病院も共通の課題や悩みを持っていることは少なくありません。実務に即した情報の共有化などが図れると望ましいと考えます。

- 申し込みすることで見られる講義配信式の研修会を増やしてほしいです（ZOOM 等は時間的にずっとパソコンの前にいることが難しいことが多い）。
- 専門職として職能団体に参加し研鑽を積むことは必要ですので、ぜひ興味を引く、研修などを企画していただきたい。
- 中堅・ベテラン向けの研修会、相談できる会合等を ZOOM 等で開催して欲しい。
- 同じ費用を支払っているのに都市部では研修が多く企画され地方は研修が少ないという不公平感がある。地方からの参加は移動費や宿泊費を捻出しなければならない負担も生じる。他分野ではウェビナーなど活発に開催され場所を問わずに参加できる環境が整備されてきている。ソーシャルワーカー協会の研修についても zoom 等を活用し、どこにいても格差無く研修が受けられる工夫をして頂きたい。
- 同時加入の要件を見直して欲しいです。
- 内輪での運営ではなく、広く会員が参加でき意見を交換できるような開かれた組織になることを望みます。
- 日頃より運営にご尽力されて、頭が下がる思いです。コロナ禍で大変な状況ですが、研修以外にもリモート等で集まれる場が作れたら良いですね。
- 日々運営にあたられている方々へは感謝の気持ちでいっぱいです。
- 日々業務にお疲れの中、協会活動にも尽力されておられることを感謝申し上げます。役員の方々の奮闘に会員の声も反映されることを望みます。
- 日本協会、道協会ともに、郵送物が多い。
- 日本協会の研修は、会員でも参加費用が高額ではないでしょうか。
- 入会したてです。研修等活用して業務に活かしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。
- 年会費の負担が大きいので、参加内容によって会費の負担が選択できる仕組みだと嬉しいです。スタディーズも欲しい人が購入する仕組みの方が良いと思います。
- 年会費を安くしてほしい。
- 必要な変化を恐れない会であって欲しい。
- 法人化して以降、支部独自の活動の制限があり、加入している意味が見いだせていない。退会も検討している。
- 北海道全体で言えることかもしれませんが、北支部は広すぎて地方から参加するには旭川は遠すぎる。土日開催の研修には家族の事情もありあまり積極的には参加できないため、平日開催のプログラムなどあればよい。
- 魅力のない研修が多い。地方の会員が受講しにくい日程。年数別で内容を精査したほうが良い。研修受講がない（リターンがない）場合に会費を減額してほしい。
- 名簿が送られてくるのが遅い。
- 役員の皆様、お忙しい中、企画・活動いただきありがとうございます。
- 役員の皆様方もコロナ渦で大変だと思いますが、頑張ってください。
- 役員の方々は日常業務も行いながらも、多くの時間を割いて協会業務にあたられていると思います。ありがとうございます。
- 連結になったことで、支部の自由な活動ができなくなっているように感じる。以前のような支部間交流の機会もなくなり、寂しく感じています。